

DOUBUTUKIKIN ACTIVITY REPORT

2017

活動報告書

2017/4/1 - 2018/3/31

一人でも多くの人に知ってもらいたいので、
この資料を読み終えたら他の人に渡してください。

 公益財団法人
どうぶつ基金

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7 TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



 公益財団法人
どうぶつ基金

PHOTO: タイ王国 フーケット島 国際活動





お礼とご報告

一つ一つの命を大切に。

いつもどうぶつ基金と共に歩いてくれるボランティアさん、獣医さん、行政職員さんをはじめ、ご支援、ご寄付をいただくすべての皆様に大きな感謝の気持ちを込めて2017年度の活動報告書をお届けします。

2016年度、行政による猫の殺処分数は45,574頭でした。前年が67,091頭ですから、殺処分数は2万頭以上減りました。10年前は約23万頭の猫が殺処分されており、毎年約2万頭殺処分数が減り、このまま2万頭ずつ減れば2019年度は殺処分ゼロが達成できる勢いです。

ここまで急速に猫の殺処分数が減った一番の要因は全国でTNRが進んだことです。また譲渡数が増えてきたことも要因です。これはボランティアさんたち一人一人がコツコツTNRを行い、再譲渡のためにセンターから引き取りを行ってきた成果と言えます。

一方、法改正により行政が引き取りを拒否できるようになり、センターでの引き取り数が大幅に減少しました。引き取り数が減れば一時的に殺処分数も減るわけですが、じっさいには不妊手術をしていないノラ猫を野に放つことになり、結果ノラ猫は増え、苦情も増えるというしっぺ返しがすぐにやってきます。保護の必要がなく自立している猫の引き取りを拒否することは賛成です。しかし不妊手術をして元いた場所に戻す、つまりTNRを行わないと問題は解決しません。私たちは問題の抜本的解決にはTNRが最も有効であることを再認識し一頭でも多くのさくらねこを増やすことに専念しました。

そんな思いで活動を続けた結果、2017年度、どうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術は22,555頭におよび、殺処分ゼロがよいよ現実になってきました。

どうぶつ基金は、ゴールが見えてきた今こそ焦らず、一つ一つの命を大切に、丁寧な活動で殺処分ゼロを実現したいと思います。引き続きご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

公益財団法人 どうぶつ基金 理事長

佐上邦久

KUNIHISA SAGAMI





国際活動報告 THAILAND PHUKET ISLAND

アジア最大の動物愛護団体 ソイドッグファンデーションへ。



2018年1月、タイ国の動物愛護団体ソイドッグファンデーションで国際活動を行いました。目的は獣医療支援とTNR先進地における運営システムや提供されるサービスを学ぶためです。ソイドッグファンデーションは無料不妊手術を行うことを目的に2003年設立、当時ブーケットを徘徊していた5万頭のノラ犬の70~80%に不妊手術を施しノラ犬は激減しました。施設の中心には無料不妊手術を目的とした病院があり、病院を取り囲むようにシェルターがあります。今回の訪問で殺処分ゼロ実現には犬猫の不妊手術が最優先であることを再確認しました。

公益財団法人どうぶつ基金 理事長 佐上邦久

私たちがブーケットで取り組む「犬の不妊手術」を通して、動物は総数の70~80%を不妊手術すればその後全体数が大きく減少する、と証明されたことは、とても重要です。私たちはその変化を実際に見てきました。今では猫の不妊手術も同じように取り組んでいます。大切なのは、猫を飼っている全ての人、飼い猫にも不妊手術を施すことです。ここブーケットや日本もそうですが、世界中には猫が溢れています。その数をコントロールする唯一の方法が不妊手術であり、犬や猫が増えすぎないよう管理するために必要なのです。忘れてはいけないのは、そもそも私たち人間が現在の犬や猫を繁殖させて作り出したということ。人の都合に合わせて作り出された犬や猫たちですから、今度は私たちが責任を持って、人道的に数を管理するよう学ばなければなりません。みなさんには、不妊手術を支援し、病気を予防するワクチン接種、そしてこの現状を変えようとしているどうぶつ基金へのご支援もお願いしたいと思います。ありがとうございました。

ソイドッグファンデーション 代表 Jhon Dalley

今回の参加はブーケットに世界でも有数の犬猫保護団体があると聞き、調べるにつれて非常に興味を沸いたのがきっかけです。タイでは文化や王様の影響から殺処分が禁止されており、その中でどのようにして犬猫の福祉を充実させていったのか、実際に目で見て非常に勉強になりました。今回の体験を今後の日本の活動に生かせればと思います。

獣医師 足立萌美



※ どうぶつ基金の理事は無報酬です。国内外の出張旅費、滞在費等はすべて個人負担しています。

どうぶつ基金が実施するさくらねこ無料不妊手術。

平成29年度は

22,555 頭の

さくらねこ無料不妊手術を行いました。

平成28年度に全国で殺処分された猫は、45,574頭です。

なかでも猫の殺処分数が多い大阪府ではなんと、引き取られた所有者不明猫の99%が離乳前の子猫でした。

もし、子猫がうまれなければ殺処分は減ります。

どうぶつ基金ではコツコツと不妊手術を実施することが、殺処分ゼロへの近道と信じています。

平成29年度は、「さくらねこ無料不妊手術事業」を22,555頭に実施しました。

<input type="checkbox"/> 行政との協働数	51 件
<input type="checkbox"/> 一般枠協働ボランティア数(のべ)	1,774 人
<input type="checkbox"/> 協力病院数	107 院
<input type="checkbox"/> 出張手術の回数と手術頭数(総数)	19 回 3,285 頭

■ 平成29年度 協働行政一覧 (51件)

※ 協働登録のみの行政は含まない (2018年3月31日現在)

【大阪府】
 キタ歓楽街環境浄化推進協議会
 泉大津市役所
 大阪市建設局 鶴見緑地公園事務所
 一般財団法人大阪府公園協会 大泉緑地管理事務所
 大阪府営深北緑地指定管理者 深北緑地パートナーズ
 一般財団法人大阪府公園協会 山田池公園管理事務所
 大阪スポーツみどり財団
 公益財団法人マリンスポーツ財団
 一般財団法人大阪府公園協会 浜寺公園管理事務所
 一般財団法人大阪府公園協会 枚岡公園管理事務所
 大阪学院大学

【北海道】
 占冠村役場

【埼玉県】
 飯能市役所
 富士見市役所
 日高市役所
 公益財団法人戸田市水と緑の公社
 ふじみ野市役所
 所沢市役所
 松伏町役場
 久喜市役所
 八潮市役所
 朝霞市役所
 深谷市役所

【千葉県】
 福生市役所
 青梅市役所
 あきる野市役所
 瑞穂町役場
 武蔵村山市役所
 府中市役所
 清瀬市役所

【東京都】
 福生市役所
 青梅市役所
 あきる野市役所
 瑞穂町役場
 武蔵村山市役所
 府中市役所
 清瀬市役所

【茨城県】
 小美玉市役所
 笠間市役所

【群馬県】
 高崎市動物愛護センター

【山梨県】
 山梨県中北建設事務所

【奈良県】
 五條市 五万人の森公園

【神奈川県】
 小田原市役所
 茅ヶ崎市役所
 寒川町役場
 真鶴町役場
 綾瀬市役所

【愛知県】
 知立市役所

【三重県】
 伊賀保健所
 あすまいる動物愛護推進センター

【和歌山県】
 橋本市役所

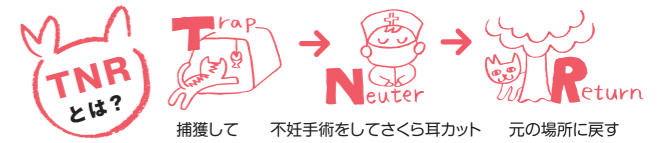
【沖縄県】
 浦添市役所
 八重瀬町役場
 うるま市役所
 北谷町役場

どうぶつ基金が推進するさくらねこTNR。

即行	スグやる	猫は1年に3回出産することができ、1度に5~7頭の子猫を産むことができます。生まれた子猫は6か月たつと妊娠が可能な年齢になり孫猫を産みます。TNRをゆっくり行っている、猫の繁殖スピードに追い付けません。
徹底	全部やる	90%の猫にTNRをしても、残った猫からあつというまに増えてしまいます。だいたいやって満足するのではなく、100%の猫にTNRを行うことが大切です。
継続	続ける	100%を目指してTNRを行っても、捕獲もれや新入りが見つかります。その都度、未手術の猫を見つけ、素早く対応していく管理体制を維持できれば殺処分ゼロ、苦情ゼロが実現できます。

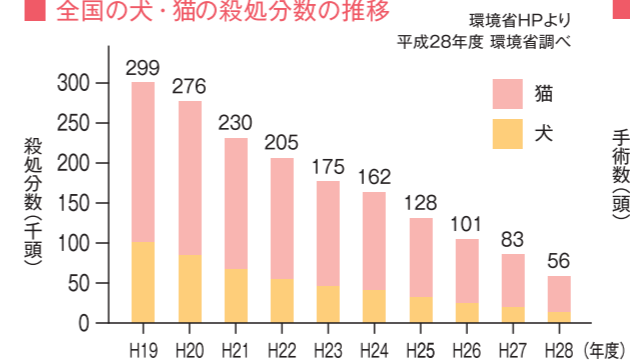
さくらねこTNR (TNR先行型地域猫活動)

「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR」を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関する行政(保護団体)などへの苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。

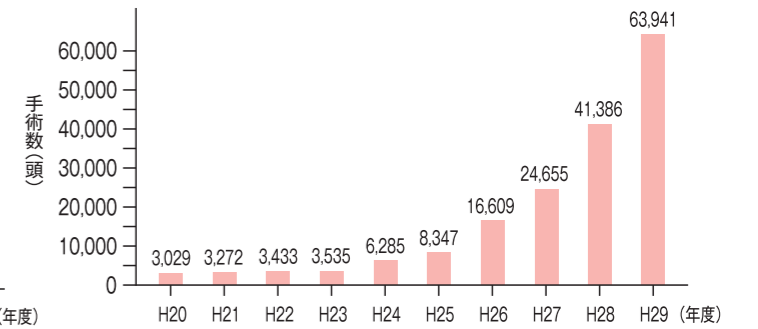


TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術してさくら耳カット)リターン(元の場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNR数千頭の実績を持つ獣医さんや専門スタッフが、ご相談を受け付けています。

■ 全国の犬・猫の殺処分数の推移



■ どうぶつ基金さくらねこTNR数累計



578組の協働ボランティアが 9,007頭の猫を保護・里親探しをしました。

さくらねこTNRは猫をつかまえて(trap)不妊手術をして(neuter)元いた場所にもどす(return)ことが原則なのですが、多頭飼育崩壊や疾病、元いた場所の環境が劣悪など、様々な事情によりどうしても元いた場所にリターンできないことがあります。そんな時は協働ボランティアが保護して里親探しをする場合があります。ボランティアはほかに保健所で殺処分される猫の引き取りもしています。どうぶつ基金の578組の協働ボランティアは1年間に9,007頭の保護・里親探しをしました。

? 協働ボランティアとは?

どうぶつ基金の活動を共に支え、殺処分ゼロを目指す仲間たちのことです。協働ボランティアの多くはTNRのT(捕獲)とR(リターン)とその後の動物の世話をを行います。中には出張手術にボランティアとして参加する獣医やAHTもいます。ほかに、パソコン、翻訳、デザイナー、マーケティング戦略など、仕事を通じて培ったスキルを活用してプロボノ参加する方もいます。どうぶつ基金の活動はともに殺処分ゼロを目指すボランティアとの協働によって成り立っています。

※ ボランティア参加の応募はHPから受け付けています。

全国の協働ボランティアと協力病院。

平成29年度は

22,555 頭の

さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアさんからの申請を受け、どうぶつ基金の協力病院で使用可能な「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し、活動を支援しています。全国の協力病院とボランティアとの協働により、平成29年度は22,555頭のさくらねこが協力病院でうまれました。



- **北海道**
- 江別市 Mobile VET Office
- 恵庭市 よつば動物病院
- 千歳市 新千歳動物病院
- **青森県**
- 三戸郡 八戸さくらねこの病院
- **宮城県**
- 塩竈市 フォルテ動物病院
- 仙台市 仙台プラム・アニマルクリニック
- 仙台市 Dog&Cat Hospital GALFAR
- **福島県**
- いわき市 いながき動物病院
- **茨城県**
- 土浦市 いながき動物病院
- 牛久市 D&C獣医科クリニック
- **栃木県**
- 足利市 柿沼ペット病院
- **群馬県**
- 藤岡市 ふー動物病院
- **埼玉県**
- 戸田市 ミニオン動物病院
- 熊谷市 ほかその動物病院
- 富士見市 ふじみ野動物病院
- さいたま市 もも動物病院
- 蕨市 ワラビー動物病院
- ふじみ野市 さくら動物病院
- 上尾市 堀どうぶつ病院
- 越谷市 いながき動物病院
- 八潮市 ペットクリニッククローバー
- 戸田市 アーボック動物病院
- 朝霞市 神山動物病院
- **千葉県**
- 館山市 往診専門 ヤスダ動物病院
- 千葉市 animal life clinic
- 柏市 いしじま動物病院
- **東京都**
- 立川市 おおにし動物病院
- 立川市 立川プラスワン動物病院
- 町田市 聖マリアンヌ緑山動物病院
- 東大和市 湖畔どうぶつ病院
- 江戸川区 えどがわ犬猫びょういん
- 江戸川区 モネ動物病院
- 江戸川区 平井動物病院
- 中野区 mocoどうぶつ病院
- 渋谷区 代官山動物病院
- 大田区 西馬込動物病院
- 日野市 きもと動物病院
- 武蔵野市 三鷹獣医科グループ
- 武蔵野市 ひだまり動物病院
- 調布市 くるみ動物病院
- **神奈川県**
- 横須賀市 NPO Purrfect Stray and Rehab Sanctuary
- 横浜市 トロ動物病院
- 横浜市 いなば動物病院

- 横浜市 コトブキ獣医科医院
- 横浜市 明和動物愛護病院
- 横浜市 さかい犬猫クリニック
- 横浜市 シンシア動物病院
- 川崎市 ペガサスペットクリニック
- 川崎市 モモ動物クリニック
- 川崎市 ヴィータ動物病院
- 大和市 山口獣医科病院
- 相模原市 ふー動物病院
- 相模原市 相模原どうぶつ医療センター
- 相模原市 陽光台グランベッツ動物病院
- 茅ヶ崎市 まつうら動物病院
- 小田原市 swingどうぶつ病院
- **新潟県**
- 新潟市 そとねこ病院 HOME
- 魚沼市 ゆきのくに動物病院
- **山梨県**
- 甲斐市 響が丘動物病院
- 笛吹市 笛吹どうぶつクリニック
- **岐阜県**
- 安八郡 むすび葉動物病院
- 羽島郡 古田動物病院
- **静岡県**
- 浜松市 そら動物病院
- 浜松市 浜松家畜病院
- **愛知県**
- 豊川市 ヤマヒロ動物病院

- 名古屋市 アメニティ動物病院
- 丹波郡 やませどうぶつ病院
- 岡崎市 ダイゴペットクリニック岡崎
- 岡崎市 ライオン動物病院
- 豊田市 ダイゴペットクリニック豊田
- 西尾市 ハート動物病院
- **三重県**
- 津市 すきもとアニマルクリニック
- 伊賀・名張 三重県獣医師会伊賀支部(8病院)
- **大阪府**
- 大阪市 一犬猫病院
- 大阪市 ありす動物病院
- 大阪市 天神橋バンビの森どうぶつ病院
- 池田市 北摂TNRサポート
のらねこさんの手術室
- 松原市 エイベット
- **京都府**
- 京都市 ぜろの会 動物病院

- **兵庫県**
- 神戸市 まずだ動物病院
- 赤穂市 郷司動物病院
- **奈良県**
- 香芝市 エース動物病院
- 北葛城郡 はねペットクリニック
- 奈良市 あや動物病院
- 生駒郡 三郷どうぶつ病院
- **和歌山県**
- 和歌山市 さくら動物病院
- 岩出市 トリニティアニマルクリニック
- **鳥取県**
- 米子市 ふじい動物病院
- 米子市 あかいどうぶつ病院
- **広島県**
- 福山市 タニダ動物病院
- 福山市 りっか動物病院
- 広島市 東原動物病院

- **長崎県**
- 島原市 ありあけペットクリニック
- **福岡県**
- 大野城市 さくらねこ動物病院
- **熊本県**
- 熊本市 竜之介動物病院
- **鹿児島県**
- 始良市 帖佐ステラ動物病院
- 始良市 加治木動物病院
- 始良市 ゆう動物病院
- 鹿児島市 ル・オーナペットクリニック
- **沖縄県**
- 浦添市 みやざわ動物病院

(2018年3月31日現在)

voice



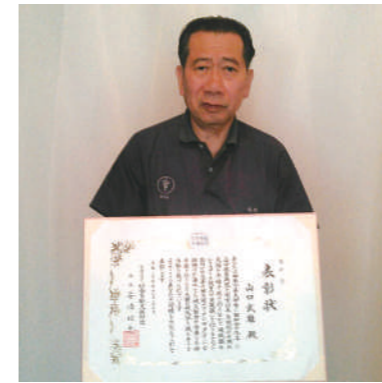
さくら耳は大切と
実感しました

北摂TNRサポート
のらねこさんの手術室
代表 秋本 真奈

当初は捕獲から手術、リターンまですべてのご依頼だった方が、ご自分で捕獲をされるようになったり、地域に協力者ができたりと、人の頼もしい変化と地域のあたたかい変化を多く見聞きし、TNRを通して、猫と人とのあたたかい共存は可能だと実感できた1年でした。一方で、手術済なのにさくら耳カットをしてないことにより捕獲された猫が当院だけで年間約6,000匹の手術のうち120匹もあり、猫のためにもさくら耳カットの必要性を根気強く伝えていく必要があると改めて痛感しました。



news



どうぶつ基金の山口獣医が 社会貢献支援財団より日本財団賞を受賞

profile

1974年に山口獣医科病院を開業以来、犬猫の殺処分を減らそうと、年間約6,000頭の犬猫の不妊手術を行っている。同病院を動物愛護団体が開催する里親探しの会場に無償で提供したり、不妊手術後、元の場所に戻せない地域猫のためのシェルターを設置し里親探しも行っている。更に、災害の被災地で被災動物の治療と不妊手術を行っているほか、プータンやタイでも同様の活動を続けている。

どうぶつ基金の協働事業（三重県）



平成29年度は、三重県で

1,057

頭のさくらねこがうまれました。

三重県モデルは一步進んだ殺処分ゼロ大作戦

ここが違う!

1

県がTNR先行型地域猫活動を主導する

ここ数年、全国で殺処分される犬や猫の数字は減っています。これまで動物愛護センターは、持ち込まれる犬猫のほぼすべてを理由など聞くことなく引き取っていました。でもこの頃「大人の猫はひとりで生きていける。子猫も近くに母猫がいる可能性がある。元の場所に戻してください。私たちは引き取りません。」と、動物愛護センターが引き取りを拒否するようになりました。

それはよかった、とつい思いがちですが、不妊手術をしていない猫を「元の場所に戻す」だけでは、これまで以上にノラ猫が繁殖し、鳴き声や糞尿の苦情が増え、将来の殺処分の温床を残すことになってしまいます。

三重県では、ノラ猫の苦情や通報があった際、引き取り拒否をするだけでなく市町村の職員やボランティアさんが協力して捕獲しあすまいるに運搬して不妊手術を行って元に戻すTNR先行型地域猫活動をおこないます。

ここが違う!

2

どうぶつ基金が行政獣医に不妊手術の技術指導を行う

通常の無料不妊手術事業とは別に、あすまいるの診療室でどうぶつ基金のエキスパート獣医が、行政獣医師に高度な技術を伝授しています。本年度は3名の行政獣医が技術指導を受けました。

ここが違う!

まとめ

三重県モデルは殺処分ゼロへの正道

行政が引き取り拒否をすれば殺処分数は簡単に減らせます。しかし不妊手術もしないで元に戻す安易な引き取り拒否は、すぐに大きなしっぺ返しがかかります。TNR先行型地域猫活動を行政が主導する三重県モデルこそ、真の殺処分ゼロへの正道です。

※ どうぶつ基金と三重県動物愛護推進センター「あすまいる」は、「さくらねこ不妊協働事業に関する協定」を締結し、継続して飼い主のいない猫の無料不妊手術等を実施しています。



voice



今年は千匹が
さくらねこになりました

三重県動物愛護推進センター
「あすまいる」
センター長 久米 徹

voice



三重県モデルを
推進します

三重県動物愛護推進センター
「あすまいる」
獣医師 岩城 多佳子

三重県では、平成26年度からどうぶつ基金の支援を受け、さくらねこ無料不妊手術の取組を行っていますが、昨年5月に開所した「あすまいる」が拠点となり事業の企画調整を行った結果、一部の保健所の限局的な取組がすべての保健所に拡がりました。平成29年度は1,057匹のさくらねこが誕生しましたが、殺処分ゼロに向け今後もこの取組を継続していく予定です。最後にこの紙面をお借りし、どうぶつ基金の事業に関して寄附をいただいた皆様、この取組に協力をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

「あすまいる」を会場として、平成29年度は7回のさくらねこ無料不妊手術の取組を行いました。が、「あすまいる」の獣医師が、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術のスキルを高め、自立して事業を継続していくことが課題となっていました。そのため、現在、山口先生から手術の技術指導を受けているところです。三重県の獣医師がスキルをあげ、常時、飼い主のいない猫の手術を行うことができれば、殺処分ゼロへの一步となりますので、引き続きご指導いただくとともに、ご支援をいただいた皆様に感謝を申し上げます。

Collaboration

どうぶつ基金の協働事業（沖縄県）

平成29年度は、沖縄で

1,289

頭のさくらねこがうまれました。

2012年からの累計2,397頭

どうぶつ基金では、沖縄を重要地域と定めて集中したTNR活動を行っています。
2012年にさくらねこという言葉が生まれた石垣島を皮切りに沖縄各地での出張手術、
無料不妊手術チケットの配布などで、これまで2,397頭の猫がさくらねこに変わりました。
2011年当時3,538頭だった沖縄県下の殺処分数は2016年度836頭まで減少しました。



Collaboration

どうぶつ基金の協働事業（大阪府）

平成29年度は、大阪で

5,690

頭のさくらねこがうまれました。

2011年からの累計18,680頭

大阪では、平成28年度より「やるで大阪 さくらねこTNR」という一斉出張手術を20回行い、
3,754頭のさくらねこTNRを行いました。その他の出張手術、無料不妊手術チケットの配布などで、
これまで18,680頭の猫がさくらねこに変わりました。
2010年当時8,041頭だった大阪府下の殺処分数は2016年度2,131頭まで減少しました。



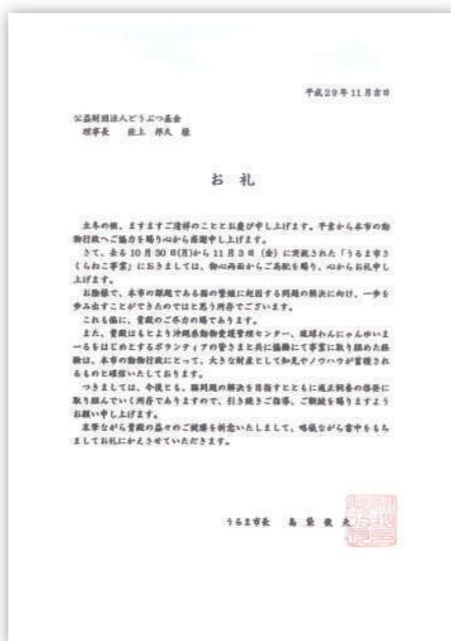
voice



沖縄もさくらねこが増えました

琉球わんにゃんゆいまーる
代表 畑井 モト子

10月末に実施されたどうぶつ基金主催のさくらねこTNRで、私達も協働で参加しました。不幸な命を減らしたいという同じ思いで官民一体となって取り組み、多くの「一代限りの尊い命を優しく見守ってほしい」という思いとともに、うるま市、北谷町で327頭のさくらねこが誕生しました。どうぶつ基金さん、どうぶつ基金さんへご寄付いただきましたみなさまのおかげです。広がる!さくらねこ。これからも継続していきます。



うるま市長よりお礼状をいただきました。

voice



さくらねこTNRで 大阪の殺処分が激減

大阪ねこの会
代表 荒井りか

昨年度に引き続き「大阪ねこの会」は「どうぶつ基金」と協働し、「やるで!さくらねこTNRプロジェクト2017」と題してTNRを進めました。このプロジェクトのおかげで大阪の猫の収容数は確実に減り、殺処分数も減っています。また、TNRが進んだことにより苦情などで悩んでいた地域の問題解決にもなりました。このプロジェクトを通じて、初めて「さくらねこ」を知った方、初めてTNRをした方、猫に関わった方もいました。これだけの成果を出せたのも「どうぶつ基金」にご寄付・ご支援を頂いた皆さまのおかげです。心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

voice



大阪を 殺処分ゼロにしたい

大阪ねこの会
萱村 元信

動物が好きで、長年保護活動をしてきました。もっと社会の役に立ちたいと考え「やるで大阪さくらねこTNR」の手術会場として自社ビルの1フロアを無償提供させていただき、活動にも参加しました。2017年度、ここで約2,000頭の猫たちが「さくらねこ」になりました。さくらねこTNRは、生まれてすぐに殺される、そんな不幸な猫たちを増やさない最短の道だと再認識しました。さくらねこTNRがもっと広がり、動物にやさしい社会になるよう、皆さんと共に人生を歩んでいきたいと思っています。



大阪・キタが「さくらねこ」の聖地に

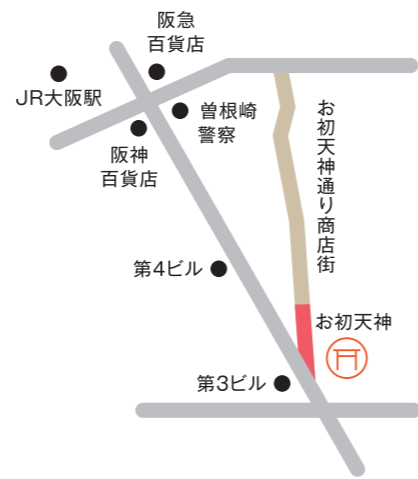
会いにキタ さくらねこプロジェクト



254 頭がさくらねこになりました。

2016年度:114頭 2017年度:140頭

大阪キタの繁華街を「世界一ねこにやさしい繁華街」にしようと、始まった「会いにキタさくらねこ」プロジェクトは2年目に入り、さらに活動の輪が広がりました。大阪キタの繁華街では、猫が増えすぎて糞尿や鳴き声で困惑。猫の健康状態も悪く観光客や、飲食店などから苦情が殺到していました。相談を受けたどうぶつ基金は2016年から、お初天神境内で無料不妊手術を行うなど、キタエリアで254頭のさくらねこ無料不妊手術を行ってきました。その結果、苦情の原因だった尿臭、さかり声などは激減しキタはヒトと猫が平和に共生する「世界一ねこにやさしい繁華街」に変わり始めています。尿臭やさかりの声などが激減し、猫の健康状態も向上。観光客らが「猫のいる歓楽街」としてSNSで発信し、キタの町で平和に暮らすさくらねこに会うために海外からキタを訪れる人も見られるようになりました。



さくらねこPRのアート展示(全長35m)



平成29年8月24日 読売新聞

voice



会いにキタさくらねこ

キタ歓楽街環境浄化推進協議会
難波 啓祐

大阪キタの猫問題は「臭い」「置きエサ・餌やりトラブル」「子猫がいっぱい」。お初天神でのさくらねこ一斉TNRがきっかけで、猫が好きになりました。どうぶつ基金による手術費全額負担のおかげで、キタは世界一ねこにやさしい繁華街に生まれ変わろうとしています。ありがとうございました。





平成29年11月5日 琉球新報新聞



平成29年6月16日 朝日新聞



伊勢新聞 ウェブニュース



琉球新報 ウェブニュース



掲載数 17 回

新聞掲載

- 5 / 11 朝日子供新聞 志々島について
- 6 / 2 毎日新聞 命の重みについて
- 6 / 16 伊勢新聞 三重県出張手術
- 6 / 16 朝日新聞 三重県出張手術
- 7 / 11 産経新聞 さくらねこについて
- 7 / 15 産経新聞 お初天神垂れ幕について
- 7 / 28 毎日新聞 お初天神垂れ幕について
- 8 / 22 毎日新聞 出張手術の拡がりについて
- 8 / 23 伊勢新聞 三重県出張手術
- 8 / 24 読売新聞 お初天神垂れ幕について
- 9 / 1 三重タイムズ 三重県出張手術
- 9 / 14 大阪日日新聞 殺処分ゼロへの活動について
- 11 / 5 琉球新報 沖縄県出張手術
- 11 / 9 ねこ新聞10月号 三重県出張手術
- 11 / 9 沖縄タイムス 沖縄県出張手術
- 12 / 8 信濃毎日新聞 犬・猫のかみ癖について
- 2 / 1 産経新聞 どうぶつ基金の活動内容について

掲載数 15 回

ウェブニュース掲載

- 5 / 11 朝日子供新聞 LINE NEWS 志々島について
- 6 / 2 毎日新聞 デジタル毎日 命の重みについて
- 6 / 16 伊勢新聞 ウェブニュース 三重県出張手術
- 7 / 16 産経フォト お初天神垂れ幕について
- 7 / 28 毎日新聞 デジタル毎日 お初天神垂れ幕について
- 8 / 21 毎日新聞 デジタル毎日 出張手術の拡がりについて
- 9 / 4 ニコニコニュース お初天神さくらねこTNR活動について
- 9 / 14 大阪日日新聞 ウェブニュース 殺処分ゼロへの活動について
- 10 / 25 PR TIMES 沖縄県出張手術のプレリリース
- 10 / 26 BIG LOBEニュース 沖縄県出張手術のプレリリース
- 10 / 30 毎日新聞 デジタル毎日 神戸市多頭飼育崩壊について
- 11 / 5 琉球新報 ウェブニュース 沖縄県出張手術
- 2 / 21 愛媛新聞ONLINE ネコが多い「青島」全匹に不妊・去勢手術
- 3 / 5 iJAMP 猫TNR活動、一代限りの命見守る
- 3 / 6 福井新聞ONLINE TNR活動について

放映数 7 回

テレビ放映

- 6 / 6 NEWS ZERO 多頭飼育崩壊について
- 6 / 16 NHK 三重県出張手術
- 7 / 20 ニュースリアル キタ歓楽街とどうぶつ基金の取り組みについて
- 8 / 23 ちちんぷいぷい キタ歓楽街でのさくらねこTNRについて
- 10 / 12 かんざい情報ネットten 北新地のさくらねこ活動について
- 10 / 19 NHK 写真コンテストについて
- 2 / 14 三重テレビ放送 殺処分ゼロへ 飼い主のいない猫に不妊手術 三重・津市

掲載数 5 回

タウン誌掲載・雑誌掲載

- 6 / 24 伊賀タウン情報「you」 三重県出張手術
- 8 / 26 リビング滋賀「こがも通信」 地域猫について
- 11 / 9 猫びより11月号 山口先生のインタビュー
- 11 / 20 ベビイ 11・12月号 お初天神商店街垂れ幕について
- 12 / 15 おきなわ倶楽部 沖縄県出張手術

大切な命を守り共に生きていく。

いのちつないだ♡ワンニャン写真・動画コンテスト

審査員を務めて8年経ちましたが、写真の点数も応募も増え、素敵な写真ばかりでいつもながら悩みながら選んでおります。コンテストの規模が大きくなってきたことによって、TNRの活動が今より多くの人々に伝わるよう祈っています。

ポスターコンテスト

犬も猫も、尊い命をもった地球に共に住む大切な仲間です。重く大切なメッセージですがポスターによって分かりやすく身近な問題として伝わったのではないのでしょうか。大切な命を守り共に生きていくことが叶うよう願っております。

GLAMOROUS co.,ltd.
代表 森田 恭通

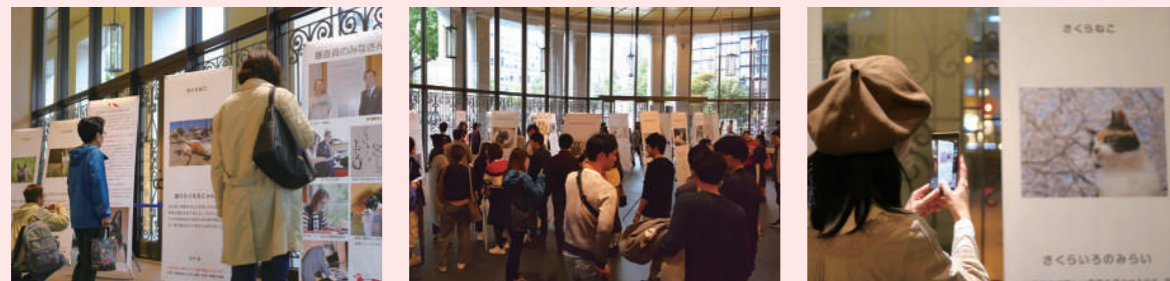


Photo by I.Susa

作品展・作品パネル貸出

あなたの町でも「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト作品展」を開催しませんか?どうぶつ基金では、展示品を全国に無料貸出しています。

どうぶつ基金よりお申し込みください。
www.doubutukikin.or.jp



会場で
地域猫相談会
を開催しました。

「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト2017」入選作品展

写真展が全国で行われました。

奈良県	生駒市	生駒市駅前図書館ギャラリー	神奈川県	川崎市	川崎市本庁舎
埼玉県	川越市	小江戸蔵里ギャラリー	埼玉県	川口市	ワラビー動物病院 有限会社 事務局
東京都	新宿区	紀伊國屋ホール	和歌山県	橋本市	橋本市保健福祉センターロビー・市役所ロビー
埼玉県	さいたま市	さいたま市市民活動サポートセンター	神奈川県	逗子市	逗子文化プラザギャラリー
大阪府	摂津市	摂津市立コミュニティプラザ	大阪府	吹田市	千里市民センター大ホール
大阪府	大阪市	京セラドーム大阪			

買わずに いのちつないだ♡ 飼ってね! ワンニャン写真・動画コンテスト

このコンテストは、犬や猫と幸せに暮らす方法として、ペット業者から買うのではなく「保護された動物の里親になる」「地域猫の世話をする」といった、本当なら殺されていたかもしれない小さな命を救い、共に生きることの素晴らしさを多くの人に知ってもらうために開催しています。



環境大臣賞 川崎 孝洋さん

この度は環境大臣賞をいただき大変うれしく思っています。賞に選んで頂いた『夕日に輝くさくらねこ』は『さくら耳』を主題に撮った写真です。昨年猫ブームと言われ、かわいい猫の写真はあふれています。しかし、現実には多頭飼育崩壊の問題や動物遺棄、殺処分…など「かわいい」だけではすまされない実態があるのも事実。写真を通して一人でも多くの人に「さくらねこ」の存在を知っていただけたらと思います。ありがとうございました。

餌やりマナーを守って愛され猫ポスターコンテスト

お腹を空かせたノラ猫をかわいそうに思い、食べ物を与えるボランティアの人や通りすがりの人がいます。でも餌をばら撒いたり、放置して後片付けをしないと周囲の迷惑になり、餌をやる人や猫が嫌われてしまうことがあります。これではせつかくの優しい気持ちが台無し。そこでマナーを守ることによって、人と猫が幸せに共生できる。というメッセージを込めたポスターコンテストを実施しました。

入賞作品は防水ポスターにして、全国のボランティアさんや行政に無料配布しています。



環境大臣賞



環境大臣賞 飯塚 友里恵さん

この度は大変名誉な賞をいただき、とても光栄に感じております。このポスターを制作している時に、幼いころに近所に居た野良猫達のことを思い出しました。彼らはとても人懐こくて愛しかったのですが、度々、心無い人に悪戯をされ怪我をしている子を見つけると胸を痛めていました。子供にも大人にもメッセージが分かりやすいようにと制作したこのポスターが、見ていただいた方に何かを残せれば幸いです。



森田恭通賞 橋本 伴子さん

今回は私の応募作に、多くの人目に触れる機会を与えていただきありがとうございます。「絶対してはいけない」ということを、より強く伝えたく作成しました。我が家の2頭目の犬は保護団体から迎えました。保護・啓蒙活動、またこれらの活動を支援されている方々に感謝するとともに、「共に暮らす命」としての終生があたりまえとなつての「殺処分0」になることを心から願います。



森田恭通賞

行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度

223頭 × **5,000**円

犬や猫を殺処分前に救って
新しい家族を見つける活動を支援しました。

どうぶつ基金では、全国の行政で行われている
犬や猫の団体譲渡制度を推進するために、行政から保護動物を引き取り、
新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方に、
1頭あたり、5,000円の助成を行いました。

? 団体等譲渡制度って？

行政が運営する保健所等が、新たな飼い主を探す活動を行っている団体や個人に、保護された犬及び猫の譲渡を行う制度です。譲渡を受けるには、各保健所への登録が必要です。行政とボランティアが協力することで、殺処分寸前の犬猫に命のラストチャンスを与えることができます！

平成29年度助成実績

平成29年度は、**223**頭が再譲渡され、合計 **1,155,000** 円の助成を行いました。

頭数 **223**頭 × **5,000**円 = 助成金額合計 **1,155,000**円



愛犬を亡くして泣き暮らしていた私は、インターネットで見かけた「なな」の悲しそうな顔に衝撃を覚え

「この子を迎えよう。絶対に幸せにしよう」と決意をしました。

柴犬としては規格外に大きく、北海道犬と並んでも引けを取らない。

でも「大きい」のは体だけではなく、器の大きいとても優しい子で、散歩中に他の犬に吠え立てられても絶対に吠え返さないし、娘や息子が泣いていると心配そうに少しずつと近寄り、必ず涙をなめて笑顔にしてくれる様子はまるで天使のようです。

うちの子になってくれてありがとう！これからもずっとずっと一緒だよ！

「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト2017」 福井 真実

「不幸な犬猫を減らしたい」

あなたの思い、動物たちに届けます。

殺処分ゼロを実現するため、
あなたに合った方法で私たちの活動を支援してください。

2,000 円で一頭のオスねこが… **4,000** 円で一頭のメスねこが…

「不妊手術」を受けることができます。

寄付はこちら

郵便局

00230-8-72832

公益財団法人どうぶつ基金 (コウエキザイダンハウジンドウブツキキン)

銀行

三井住友銀行 芦屋駅前支店 (店番号380) 普通 4172198

公益財団法人どうぶつ基金 (コウエキザイダンハウジンドウブツキキン)

クレジットカード



WEB寄付のお願い特設ページ

公益財団法人
どうぶつ基金



どうぶつ基金 寄付

こちらからも寄付が可能です。



FamilyMart

Famiポート募金



voice ご寄付をいただいた皆様に現場から感謝の声が届いています!

おかげさまで、昨年一年間も、TNR数210頭、子猫の保護で50匹以上の譲渡が出来ました。過酷な外での生活を強いられる猫がいなくなるよう、引き続き頑張りたいと思いますので、これからもご協力をお願い致します。

協働ボランティア 阿部 千春様 神奈川県



これまでは1人で悩み生活を切り詰めて泣きそうな思いでやってきましたが、このような支援を受けられることを知り、実際に支援して頂いて本当に感謝しております。1人じゃない、応援してくれる人がいるってことがとても勇気ややる気を下しました。支援して下さる方々一人一人の思いをしっかりと胸に刻んでこれからも頑張りたいと思います。頂いたチケットは決して無駄にすることなく使わせて頂きますありがとうございます。本当に感謝しています。余裕が出来たら私も寄付をさせていただきます。

協働ボランティア 斉藤 純子様 山梨県

さくらねこチケット、本当に助かりました。毎年のように野良猫が出産を繰り返して、増え続ける一方でしたが、さくらねこチケットでTNRを根気強く続けることで出産がなくなり、可哀想な子猫も見かけなくなりました。オス同士の喧嘩も減り、地域の方からも感謝されています。どうぶつ基金にご寄付をいただいている方のおかげで、着実に可哀想な猫ちゃんが減ってきています。本当に感謝申し上げます。

協働ボランティア 安島 美奈子様 東京都



sakura neko shop

<http://doubutukikin.thebase.in/>

かわいいグッズを買って寄付する、
どうぶつ基金公式「さくらねこSHOP」がOPEN!

どうぶつ基金のオフィシャルネットショップです。収益は犬やねこの救済に使われます。



D 公益財団法人 どうぶつ基金

どうぶつ基金は、昭和63年に設立されて以来、人とどうぶつが幸せに共生できる社会づくりに貢献してきました。当基金では、約10万頭(平成26年度)の犬や猫の行政による殺処分を早期にゼロにするために様々な取り組みを行っています。犬や猫の殺処分数は年々減少しており、殺処分ゼロは決して夢物語ではありません。今までの「蛇口は開きっぱなし、桶から漏れた水はどんどん下水に流す」というシステムを変え「蛇口を絞って、受ける桶を大きくする」ということを地道に実践し訴えることが殺処分ゼロへの近道だと考えています。このビジョンに従い当基金の事業は成り立っています。蛇口を締める取り組みが「さくらねこ無料不妊手術事業」です。さくらねこTNRを推進することで、殺処分される猫を減らすことができます。受け皿を大きくする取り組みが「行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度」と「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト」です。助成金制度によって、殺処分対象の犬や猫を引き取り、新しい飼い主を探す取り組みをしている団体を応援します。写真・動画コンテストによって、ペットを買わずに飼うことの素晴らしさを広め、現在飼い主のいない犬や猫の受け入れ先を増やします。

当基金は「動物と人が幸せに共存できる日本」「殺処分ゼロの国日本」の実現のため、やみくもに活動するのではなく、社会システムを見極めたくうえで、明確なビジョンの元に地道な取り組みをこれからも続けていきます。



History

- 昭和63年 富岡操(初代会長)横浜市に財団法人横浜動物福祉協会を設立。
- 平成2年 神奈川県愛甲郡清川村に動物保護シェルター建設
- 平成10年 名称を財団法人富岡操動物愛護基金に変更
- 平成17年 地域猫無料不妊手術を開始
- 平成18年 代表に佐上邦久就任
地域猫無料不妊手術1,000頭
座間市で行政による猫引取り殺処分ゼロを達成
名称を財団法人どうぶつ基金に変更
- 平成19年 清川村で集中不妊手術、保健所による猫引取り殺処分数ゼロ達成
厚木市で200頭の集中無料不妊手術の結果殺処分38%減少
- 平成20年 猫無料不妊手術3,000頭達成(平成18・19・20年度合計)
- 平成21年 猫TNR助成金制度を開始
- 平成22年 内閣総理大臣より公益財団法人承認
兵庫県芦屋市に事務局移転
環境省主催生物多様性エキスポ出展
衆議院会館で理事長が講演「殺処分ゼロへの提言」
いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞開始
山口武雄前代表 動物愛護功労者環境大臣表彰受賞
佐上理事長 環境大臣表敬訪問
- 平成23年 「どうぶつからの感謝状」環境大臣賞実施
- 平成24年 石垣市と協働さくらねこ無料不妊手術
- 平成25年 世界遺産国宝姫路城で出張手術実施
- 平成26年 徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクト開始
行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度開始
- 平成27年 ポスターコンテスト開催 森田恭通賞発表
行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度実施
徳之島 猫の捕食によるアマミノクロウサギ死体発見1件に減少
- 平成28年 社会貢献支援財団(安倍昭恵会長)より日本財団賞受賞 佐上理事長
さくらねこ無料不妊手術41,386頭(28年度末時点での累計)
徳之島 猫の捕食によるアマミノクロウサギ死体発見0件達成
- 平成29年 山口前会長 社会貢献支援財団より日本財団賞受賞
さくらねこ無料不妊手術累計6万頭達成
タイ国ソイドッグファンデーションにて国際活動



創設者 富岡操



平成2年～平成18年
動物保護シェルター



環境大臣を表敬訪問



社会貢献支援財団
日本財団賞受賞 佐上理事長



タイ国ソイドッグファンデーション
にて国際活動

正味財産増減計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで 公益財団法人 どうぶつ基金

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	102,987,580	85,807,184	17,180,396
基本財産運用益	1,923,329	5,084,342	△ 3,161,013
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	1,923,329	5,084,342	△ 3,161,013
受取寄付金	90,801,958	72,798,180	18,003,778
グッズ販売収益	10,262,151	7,365,980	2,896,171
雑収入	142	558,682	△ 558,540
(2) 経常費用	128,252,524	92,773,431	35,479,093
事業費	126,703,092	91,510,151	35,192,941
給与手当	3,333,094	1,181,602	2,151,492
法定福利費	520,922	239,231	281,691
地代家賃	1,652,619	0	1,652,619
旅費交通費	714,252	255,776	458,476
通信費	409,386	247,804	161,582
荷造運賃	1,662,615	1,177,052	485,563
広報費	17,283,528	10,548,642	6,734,886
消耗品費	183,596	143,339	40,257
事務用品費	6,491	348,540	△ 342,049
修繕費	42,340	142,028	△ 99,688
保険料	25,120	23,068	2,052
租税公課	82,000	0	82,000
支払手数料	2,509,766	381,596	2,128,170
支払報酬料	2,651,076	50,000	2,601,076
事務手数料	6,320,887	10,665,432	△ 4,344,545
不妊手術援助費	84,662,086	64,067,662	20,594,424
支払助成金	1,180,000	130,000	1,050,000
グッズ製作費	3,460,982	1,712,915	1,748,067
雑費	2,332	195,464	△ 193,132
管理費	1,549,432	1,263,280	286,152
給与手当	370,345	131,288	239,057
法定福利費	57,881	26,581	31,300
地代家賃	183,625	0	183,625
旅費交通費	79,363	28,419	50,944
通信費	45,489	27,534	17,955
荷造運賃	184,736	130,783	53,953
消耗品費	20,401	15,927	4,474
事務用品費	722	38,727	△ 38,005
修繕費	4,705	15,781	△ 11,076
保険料	2,792	2,562	230
租税公課	25,685	25,560	125
支払手数料	278,864	42,400	236,464
支払報酬料	294,564	756,000	△ 461,436
雑費	260	21,718	△ 21,458
当期経常増減額	△ 25,264,944	△ 6,966,247	△ 18,298,697
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
(2) 経常外費用	9,982,648	5,278,684	4,703,964
基本財産評価損	9,982,648	5,278,684	4,703,964
当期経常外増減額	△ 9,982,648	△ 5,278,684	△ 4,703,964
当期一般正味財産増減額	△ 35,247,592	△ 12,244,931	△ 23,002,661
一般正味財産期首残高	141,017,785	153,262,716	△ 12,244,931
一般正味財産期末残高	105,770,193	141,017,785	△ 35,247,592
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	105,770,193	141,017,785	△ 35,247,592

貸借対照表 平成30年3月31日現在 公益財団法人 どうぶつ基金

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	17,917,633	27,037,063	△ 9,119,430
商品	1,453,836	1,049,908	403,928
未収入金	0	192,320	△ 192,320
流動資産合計	19,371,469	28,279,291	△ 8,907,822
2 固定資産			
基本財産	88,837,510	116,646,549	△ 27,809,039
投資有価証券	88,837,510	116,646,549	△ 27,809,039
その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	88,837,510	116,646,549	△ 27,809,039
資産合計	108,208,979	144,925,840	△ 36,716,861
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,118,395	3,757,764	△ 1,639,369
預り金	320,391	150,291	170,100
流動負債合計	2,438,786	3,908,055	△ 1,469,269
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,438,786	3,908,055	△ 1,469,269
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	105,770,193	141,017,785	△ 35,247,592
(うち基本財産への充当額)	(88,837,510)	(116,646,549)	(△27,809,039)
正味財産合計	105,770,193	141,017,785	△ 35,247,592
負債及び正味財産合計	108,208,979	144,925,840	△ 36,716,861



どうぶつ基金は、人とどうぶつが
幸せに共生できる社会づくりに貢献します。